



イノチオ防除チラシ
2025年7月号

ミニトマト



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

コナジラミ類対策 ～育苗期・定植時～

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

灌注剤

育苗期後半～定植当日
ベリマークSC



IRAC : 28
25ml/400株
(散布液量 : 10~20L/400株)
マルチバチ影響日数 1日
※定植3~5日前処理が
オススメです!
※ミネクトデュオ粒剤と併用不可

粒剤

育苗期または定植時

アルバリン粒剤



IRAC:4A
1~2g/株
マルチバチ影響日数
10日(クロマル22日)
※育苗期1回・定植時1回
使用可能です

ベストガード粒剤



IRAC:4A
1~2g/株
マルチバチ影響日数
21日以上
※定植時までで1回以内

鉢上げ時～育苗期後半
または定植時
ミネクトデュオ粒剤



IRAC:28,4A
2g/株
マルチバチ影響日数
21日
※育苗期に処理した場合、
定植時には使用不可
※ベリマークSCと併用不可

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

※時期によって**使用方法**が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。



この症状はどんな病気？～立枯病～

【トマト立枯病】 *Fusarium solani-melongenae*
(*Haematonectria ipomoeae*)

地際部や葉かき跡の茎が褐変・ひび割れし、
赤い小粒を形成する場合があります。
茎の内部まで広がると、株は萎れ、枯れます。
土壌伝染や、発病部から菌が飛散し、
傷口等から二次感染します。



【対策】

- ▶ 株ごと抜き、圃場外へ処分
- ▶ 土壌消毒・資材の交換や消毒

資材消毒していますか？

セルトレイやポット、支柱など病原菌が付着したまま
越冬・使用すると、翌年感染源となる可能性があります。
剪定用のハサミに菌が付着すると、植物の切断面から
伝染させてしまう可能性があります。
大切な作物に病原菌を感染させないよう、育苗期も
栽培中も資材消毒が重要です！

ケミクロンG

500~1000倍希釈
(使用目的により異なる)
育苗箱・育苗ポット
剪定用ハサミ・収穫用かご
など 資材の消毒
※消毒後、水洗いしてください



エヌキャッチ

窒素固定細菌Gd(グルコンアセトバクター・ジアゾトロフィカス)
葉から植物体内に入り、空中の窒素を供給します！
窒素不足時に効果を発揮するため、窒素過多の心配もありません！



酷暑対策に

収穫物の
品質向上に

作物の
生産性向上に

毎月1日掲載
各作物をチェック！

